

はらむら



# 議会だより

第118号

平成26年8月10日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



50回記念大会

■平成26年■  
**6月  
定例会**

- 6月定例会 ..... 2
- 委員会報告 ..... 3
- 一般質問 ..... 5
- 議会日誌 ..... 8

# 6月定例会

平成26年第2回定例会は6月3日から13日まで、会期11日間で開催された。

平成26年度一般会計補正予算案など村長提出議案13件、陳情5件と議員提出議案3件を審議した。

委員会での審査の内容は委員長報告のとおりです。

◎**税条例の一部改正**（専決）  
軽自動車税の値上げも含む。

今までより5万円程度引き上げるもの。

◎**26年度一般会計補正予算**（第1号）

◎**国保税条例の一部改正**（専決処分）  
課税上限額を引き上げるもの。

◎**25年度一般会計補正予算**（第8号）（専決）

道路除雪費などの国補助金が支給された。総額は変わらない。

◎**原村鳥獣被害対策実施隊**の設置に関する条例

◎**非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正**

◎**長野地方裁判所各支部における労働審判の開設について**

陳情者

長野県弁護士会  
会長 田中 佳代  
「全会一致で採択」

◎「**最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書**」の採択を求める

陳情

陳情者  
諏訪地区労働組合連合会  
議長 木村 俊昭  
「賛成少数で不採択」

賛成4 反対5

☆**反対討論**

・全国一律の最低賃金は無理がある。  
・意見書通りの要求は多岐にわたりすぎと考える。

☆**賛成討論**

・最低賃金の引き上げは、経済活性化のためにも必要である。

◎「**義務教育費国庫負担制度**」の堅持に関する陳情

陳情者

長野県教職員組合  
諏訪支部 小林 一博  
「賛成多数で採択」

賛成7 反対2

☆**反対討論**

・国庫負担を減らしその分を交付税で賄うことで地方が独自の教育行政を行える。地方分権の考えから反対する。

☆**賛成討論**

・国民の教育機会が、住んでいるところで差があってはならない。現実に教員に係る負担は増えている。

◎**35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書**提出に関する陳情書

陳情者

長野県教職員組合  
諏訪支部 小林 一博  
「全会一致で採択」

◎**労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める陳情書**

陳情者

日本労働組合総連合会  
長野県連合会  
会長 中山 千弘  
「全会一致で継続審査」

## 意見書の提出

◎**長野地方裁判所各支部における労働審判の開設を求める意見書**

提出者 矢島 昌彦  
宛先 内閣総理大臣他

◎「**義務教育費国庫負担制度**」の堅持を求める意見書

提出者 宮坂 早苗  
宛先 内閣総理大臣他

◎**35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書**

提出者 宮坂 早苗  
宛先 内閣総理大臣他



# 委員会報告

## 総務産業常任委員会

委員長 矢島 昌彦

条例改正等5件、一般会計補正予算と陳情3件について審査した。

### ◎個人情報保護条例の一部改正について

・電子計算機の結合について、法令等に基づくものは、審議会に諮ることなく結合できるように改正するもの。

職員。隊員の報酬や公務災害補償措置等を条例で定めている。

### ◎非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正

・非常勤消防団員の退職報奨金の支払額を一律5万円引き上げ、最低支給額を20万円とする。

### ◎特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

本条例の別表に鳥獣被害対策実施隊員を加える。

### ◎平成26年度一般会計補正予算

・歳入歳出それぞれ9億835万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を47億9千635万3千円とするもの。

### ☆生活相談費

・消費者被害防止の冊子、2千800部。

### ☆農業振興費

・2月の豪雪災害のパイプ

ハウス等75棟の施設撤去費及び再建などの補助金。被災農業者経営体育成支援。8億4千714万1千円。撤去費・4千125万8千円。

千円。

・農業用施設村単独補助。1千124万円。規模拡大やグレードアップに20%補助。被災農家の30%がグレードアップして再建と見込む。

・代作用種苗等被害補助。200万円。代作種苗に20%作物被害30件に一律5万円の補助する。

### ☆非常勤消防費

・退職者22名分の退職報奨金。284万1千円。全議案を全会一致で可決すべきものと決定する。

## 陳情の審査

◎長野地方裁判所各支部における労働審判の開設について

### ○採択（全会一致）

・長野県内においては労働審判事件を取り扱っているのは、長野地方裁判所本庁だけ。中南信の県民には時間的・経済的負担

が大きい。早急に同裁判所松本支部での取り扱いを望む。

### ◎最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情

○不採択（賛成1…反対2）

反対討論 最低賃金を上げても、ワーキングプアの解決にはならない。最低賃金を1千円にしたら農家や中小企業は活力を失う。

賛成討論 景気回復には最低賃金をあげ、低所得者層の購買力の底上げをすべき。

### ◎労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める陳情

○継続審査（全会一致）

## 事務調査

災害時の告知について

平成14年1月現行システムの運用を開始する。

平成18年3月個別受信機の更新。2千台導入。

平成17～21年度原山地区のほぼ全域で有線放送への加入が可能となる。

・センター装置・導入から12年経過、代替機や部品の確保が困難。故障すれば放送ができなくなる状況。

・個別受信機・導入から8年が経過。在庫台数は30台以下。

・機器等の更新

・センター装置・平成27年に更新する予定。

・個別受信機・センター装置と同時期の一斉更新が望ましいが、新旧の受信機の平行利用を検討中。

### 調査結果

・現況から、機器を早急に更新し、安定した告知放送をできるようにすること。

・災害時などに備えて屋外スピーカーの整備等検討を求めた。



# 社会文教常任委員会

委員長 宮坂早苗

26年度一般会計補正予算の分割審査、2議案と陳情2件について審査した。

## ◎一般会計補正予算

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

- ・保育所給食棟建設費の補正。国土交通省告示第15号の設計管理基準による見積もりの見直し。労務単価、電気設備費、資材費等の高騰によるもの。
- ・中新田区柳林川他河川改修工事費。
- ・原村悠生寮東側の作業棟建設にともなう遺跡発掘調査費。
- ・社会体育館AEDのリース料など。

## ◎原村住宅管理条例の一部を改正する条例

- 原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)
- ・「等」を加えることで入居者の保護範囲を拡大するもの。

## ◎平成25年度繰越学校施設

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

- ・環境改善交付金 原中学校管理棟大規模改修工事請負契約の締結
- ・工事請負契約の締結。管理棟と調理室改修工事の実施。

## 陳情の審査

### ◎「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情書

○採択すべきものと決定する。(全会一致)

### ◎35人以下学級の早期実現

○採択すべきものと決定する。(全会一致)

## 事務調査

・第5水源配水池基礎工事平成28年度以降の配水を予定し、工事は順調に経過している。

・歴史民俗資料館常設展に加え、地域在住のアーティストとの企画展、生涯学習との連携等、原村の縄文から現代にいたるまで、歴史を通して歴史民俗資料館としての役割をPRしていきたいとのことだった。

・やつがね区の歩道未整備地区、中新田区の河川改修工事予定地の現地確認を行なった。



第5水源配水池工事

# 平成26年第2回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議案名等	小林庄三郎	小池利治	木下貞彦	五味武雄	鮫島和美	矢島昌彦	小池和男	日達徳吉	宮坂早苗	長谷川寛	審議結果
《村長提出》												
同意第2号	教育委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	同意
同意第3号	固定資産評価審査委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	同意
承認第1号	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	承認
承認第2号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	承認
承認第3号	平成25年度一般会計補正予算第8号(専決)	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	承認
議案第21号	行政手続条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第22号	個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第23号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第24号	鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第25号	原村営住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第26号	非常勤消防団員に係る退職報奨金支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第27号	平成26年度一般会計補正予算第1号	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
議案第28号	原中学校管理棟大規模改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
《議員提出》												
発委第1号	長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
発委第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	×	○	○	×	○	-	○	○	可決
発委第3号	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決

# 一般質問 村政を問う

## 修繕架け替えが必要な橋は

木下 貞彦

## 弓振川の2つの橋

平成27年4月15日 第118号 一般質問



〔質問〕原村における新規就農の現況、県内の就農者に対する、研修施設は。また、サポート、指導の実態は。

〔村長〕青年就農給付金は45歳未満の新規就農者に支給され、24年度は8人で内夫婦が2組。25年度も8人で内夫婦が1組。対象者は説明会を行い、営農計画書等を提出してもらう。審査を行い、県を通じて申請する。研修施設は、長野県農業大学の実践経営者コース就業年限が2年。JA信州諏訪出資の生産法人株めぐりクリエイト信州諏訪が運営する施設が富士見町にある。他に村内の八ヶ岳農業実践大学校。県事業の里親研修制度では、村内3農家が受け入れ農家として登録されている。指導、サポートについては大変難しい問題で、県普及員と連絡を密にして、問題に当たっている。地域に入れば地域との協調、信頼が大事だ。

〔質問〕橋梁長寿命化修繕計画について。修繕、架け替えが必要な橋梁は。点検方法や今後の予定は。

〔村長〕この計画は、橋の長さ10m以上の24橋梁を対象に19年から21年に点検を行い、24年2月に策定した。架け替えが必要な橋梁は、弓振15号橋（農場）28年度架け替え工事予定。修繕が必要な橋梁は、弓振8号橋（柳沢）33年度修繕計画。

点検は5年に1回、次は28年度に予定し、健全度レベルを計る。今後100年のライフサイクルコストを算出した場合、予防型だと約12億円、事後保全型だと14億円、架け替え更新型だと21億円かかる。

## 役場庁舎内の 省エネ対応は 五味 武雄 消費電力を26%削減



改善指摘内容は、省エネ実施のルールづくり、小さな消灯、トイレの人感センサー設置、雨水排水管ヒーターの小まめな切り換え等が指摘された。

これらに加え、蛍光灯の安定器が故障した場合、順次LED照明に交換し省エネを図っている。

平成25年度の役場消費電力は20万2千459kWで、前年比7.5%減。省エネ対策を始めた平成21年比で26.0%減の省エネ実績である。

〔質問〕給油所過疎地とは、自治体の中に給油所が3カ所以下の地域をいう。

全国の推移は、平成23年3月の238から平成26年3月には265と増加している。県内は27町村が該当。

給油所が無くなった場合、震災時にあったが、災害拠

(5) 第118号 はらむら議会だより

〔質問〕平成23年11月に省エネ診断を受けたと聞いているが、実施の状況、指摘内容は。

〔村長〕信州省エネパトロール隊により、役場庁舎、福祉センター等の省エネ診断を受けた。

〔質問〕原村は過疎地に含まれていないが、経済産業省の支援事業を更に研究し、必要がある場合は村としての支援策の検討を。

〔村長〕村内では3施設が営業している。状況を見ながら、相談に応じたり研究をして進めていきたい。

〔質問〕原村における新規就農の現況、県内の就農者に対する、研修施設は。また、サポート、指導の実態は。

〔村長〕青年就農給付金は45歳未満の新規就農者に支給され、24年度は8人で内夫婦が2組。25年度も8人で内夫婦が1組。対象者は説明会を行い、営農計画書等を提出してもらう。審査を行い、県を通じて申請する。研修施設は、長野県農業大学の実践経営者コース就業年限が2年。JA信州諏訪出資の生産法人株めぐりクリエイト信州諏訪が運営する施設が富士見町にある。他に村内の八ヶ岳農業実践大学校。県事業の里親研修制度では、村内3農家が受け入れ農家として登録されている。指導、サポートについては大変難しい問題で、県普及員と連絡を密にして、問題に当たっている。地域に入れば地域との協調、信頼が大事だ。

## 部門横断的な 組織体制について

宮坂早苗



### 原村は小さい組織 都度対応していく

〔質問〕若者定住促進やまちづくり等、若い職員の視点で議論し提案してもらうことが必要であると考えるが。

〔村長〕今庁内は、若手職員の育成に力を入れている。職員自体が育たないと良いアイデアも出てこない。

〔質問〕高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現することは重要。スマートウエルネスとは、「筋力を保ち、自立的に歩くことを基本に健康を考えるまちづくり」である。医療費の抑制にもつながる。導入の考えは。

〔村長〕福祉と健康の村、原村を全国にアピールしてきた。不健康で長寿であっても幸せとは言えない。事業遂行に当たり、横断的な組織体制を整備する必要がある。プロジェクトチームで対応していく必要がある。

〔村長〕原村の小さい庁内組織で、部門横断的な組織をつくったら、1年間通しての事業になる。その都度対応していきたい。

〔質問〕教職員住宅を、若者定住や新規就農者の賃貸住宅に活用できないか。



## 村の人口減への対策は

鮫島和美

### 魅力ある村づくりを続ける

〔質問〕「日本創成会議」は原村の2040年の20〜30代女性の人口は2010年対比で38・8%減という試算結果を発表した。これをどう判断するか。

〔村長〕真剣に受け止める必要はあるが、数字に振り回されずに人口増や維持の対策を行う。

〔村長〕6棟、22戸あり、15戸が入居している。老朽化が進み、設備更新、改修が必要。教員住宅とすれば6戸あれば十分。それ以外の建物は、所管がえを検討している。

〔質問〕「創成会議」は人口を安定的に維持、増進させるためには若い世代の経済基盤、生活基盤作りのための施策が第一に必要であると訴えている。この点をどう考えるか。

〔村長〕従来通り、福祉や環境に力を入れ、魅力ある村づくりを続ける。村には若者の働き口を保証するよう企業はあまりなく、諏訪圏域全体で考えなければならぬ問題である。

〔質問〕原村は「福祉の村」として賞賛されている。

〔福祉の村〕としての積極的な施策、特に65歳以上医療費特別給付の制度は守るべきである。高齢者の医療費の問題は高齢者のみの問題ではない。若

い世代にも将来の展望を示す大事な施策だと思いがどうか。

〔村長〕人口の年齢構成が変わって来る中で、その制度を担っていきけるのかどうか。年齢、所得の制限等、検討する時に来ている。

〔質問〕安倍首相は集団的自衛権行使容認により、日本を「戦争する国」に強引に変えようとしている。こうした流れの中で、教育委員会弱体化の意図を露骨にしている。この動きをどう見るか。

〔村長〕新教育委員会制度となっても教育委員会と協議して、より良い教育の振興をつかさどることには変わりはない。



# 年度内のハウス等の再建は

小池 利治

## 農家の皆さんに徹底したい



〔質問〕 2月の大雪で被害

を受けた農業施設の支援について、ハウス等の資材到達が秋以降になれば、冬の再建はかなり難しい。来年3月までが補助対象期間という事だが、26年度中に再建できなかった場合、村として柔軟な対応を考えられないか。

〔村長〕 今年度内に再建しないと9割の再建補助を受けることはできない。年度内に再建されるよう農家の皆さんに徹底したい。

(7) 第118号 はらむら議会だより  
〔質問〕 2月の大雪の時対策本部が充分機能しなかったのではないか。道路の除

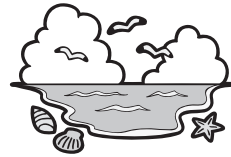
雪状況等、地域の責任者や住民から情報を寄せてもらい村はそれに基づいて積極的に対応することが必要ではないか。2月の災害のまとめはどうなっているか。

〔村長〕 災害対策本部の中で人員配置等も含め対応したい。大雪のまとめは集約中。

〔質問〕 圃場整備地区内の水路等の点検について。事業開始から20年以上経過している地域が多い。部分的な修復はされてきたが、全面的な工事ではなくては追いつかない状態である。村と地域が一体になつて水路等の計画的な点検で対応すべきでは。

〔村長〕 区長を通じて申請してもらおう。多面的機能支払交付金があるので地

域の皆さんが積極的に取り組み進めることが望ましい。



# 議会報告・懇談会

昨年11月に続き、4月16日（菖蒲沢公民館）同日（やつがね公民館）の両日、議会報告・懇談会を開催した。

この懇談会も、平成19年以来通算27回を数えている。

平成26年度一般会計予算審査などについて報告した後、懇談会で次のようなご意見、ご質問をいただきました。

- 音声告知放送の更新について
  - 防災無線と屋外スピーカーについて
  - 樅の木荘について
  - 特別養護老人ホームの待機状況について
  - 団地への進入路について
  - 県道の歩道整備について
  - 「日本で最も美しい村」連合加盟について
  - 住民基本台帳カードについて
  - 高齢化問題について
  - その他、村政について、目的やソフトから検討し、それにあつた施設整備を検討していくべき。
  - コンセプトが重要。とのご意見をいただきました。
- 皆さんから頂きました課題は、今後の議会活動に活かしていきたいと考えております。
- 今後も多数の皆様のご参加をお願いいたします。



議会報告・懇談会

# 議会日誌

21日	20日	14日	5月	26日	24日	18日	16日	15日	8日	7日	4日	1日	4月	27日	22日	30日
茅野防犯協会連合会 理事会及び定期総会 茅野市・原村・富士 見町地区農作物価格 安定対策事業運営協 議会総会	原村環境保全審議会 茅野防犯協会連合会 茅野市・原村・富士 見町地区農作物価格 安定対策事業運営協 議会総会	原村観光連盟総会 原村商工会通常総会 茅野防犯協会連合会 茅野市・原村・富士 見町地区農作物価格 安定対策事業運営協 議会総会	原村観光連盟総会 原村商工会通常総会 茅野防犯協会連合会 茅野市・原村・富士 見町地区農作物価格 安定対策事業運営協 議会総会	原村商工会豪雪被災 会員激励お花見会 部定期総会	日本禁煙友愛会原支 部定期総会	議会報告・懇談会 議会報告・懇談会	茅野防犯協会連合会 会計監査	諏訪大社例大祭・御 頭祭	議会広報編集委員会 諏訪大社例大祭・御 頭祭	こひつじ幼稚園入園 式	原中学校入学式 原中学校入学式	原村保育所入園式 原中学校入学式	4月	茅野交通安全協会原 支部定期総会	諏訪湖流域下水道促 進協議会定例会	30日
23日	15日	13日	11日	8日	4日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日
景観と村づくりの会 総会	原村消防団消防ポン プ操法大会	議会運営委員会	全員協議会	東京原郷友会総会	全員協議会	原村防犯組合定期総 会	原村防犯組合定期総 会	第2回原村議会議 定例会	八ヶ岳(阿弥陀岳) 開山祭	茅野広域シルバー人 材センター定期総会	原村奨学生審議会	原村奨学生審議会	原村奨学生審議会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	諏訪湖流域下水道促 進協議会定例会	30日
議会広報編集委員会 総会	原村防犯組合定期総 会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会	茅野交通安全協会原 支部定期総会

農業振興地域整備開  
発協議会  
諏訪広域連合議会議  
会運営委員会  
歴史民俗資料館運営  
協議会



**議会の傍聴に  
お出かけください**  
次回(平成26年9月)の定例会は  
9月1日(月)開会の予定です。  
お問い合わせは、  
議会事務局に(0266-79-7951)

原村固定資産評価審査  
委員会委員になりました

ながた  
**長田**

ひでお  
**秀夫さん(払沢)**

任期 平成26年7月23日から  
平成29年7月22日まで

原村教育委員会  
委員になりました

しんどう  
**真道**

くにひろ  
**邦宏さん(大久保)**

任期 平成26年7月23日から  
平成30年7月22日まで

# 編集後記

社会は早い速度で変化して  
います。高速通信網の発  
達は生活を大変便利にし  
ましたが、一方で一刻の安  
らぎもない慌ただしさも  
もたらしましたし、少子高  
齢化はこれまで日本が置  
かれたことのない社会へ入  
ることを意味します。

子どもたちは社会の宝で  
す。豊かな自然の中で、大  
きな愛情や温かなまなざ  
しに包まれ、心身共に健や  
かに成長することを願いま  
す。今こそ、家庭や地域社  
会が共に、未来をつくり時  
代を担う子どもの健全育成  
に取り組む必要性があるの  
ではないでしょうか。

(小林 庄三郎 記)

## 編集委員会

- 委員長 長谷川 寛
- 副委員長 矢島 昌彦
- 委員 小林庄三郎
- 同 小池 利治
- 同 木下 貞彦
- 同 五味 武雄